

# 岡山大学

医学部 医学科

OKAYAMA UNIVERSITY  
MEDICAL SCHOOL



OKAYAMA  
UNIVERSITY

世界への扉を開く



2020年度 学科案内

# 挑戦する君たちへ

なぜ医学・医療を学びたいのですか？

どのような医学教育を期待していますか？

医師・医学研究者として、どうキャリアを積みたいですか？

すべてはここから始まります。





## 未来の医療・医学のリーダーを志すあなたへ



### 医学を志す皆さんへ

岡山大学医学部は、未来の医学と医療をリードする医療人を育成することにより、人々の健康増進と福祉に貢献することを教育理念としています。医学科の起源は、明治3年(1870年)の岡山藩医学館に始まります。令和2年(2020年)には、150周年を迎えようとしています。この150年あまりの期間に、1万2千人以上の医師や多くの医療人を中国四国地域から近畿西部地域にわたる多くの関連病院へ輩出し、地域に支えられ地域に貢献する医学部であり続けています。私たちは、この節目の2020年までの10年間を医学部10年ルネッサンスとして、教育・研究・診療・社会貢献のすべての領域で発展させるべく努力しています。既に2013年以降、医歯薬学総合研究科と岡山大学病院を中心として橋渡し研究加速ネットワークプログラム、臨床研究中核拠点事業、がんゲノム医療中核拠点事業に選定されており、中四国地域に根ざした医療中核拠点になっています。医学教育では、60分・4学期制、自主的なアクティブラーニングプログラムや診療参加型臨床実習の拡充など国際水準に適った教育カリキュラムへの改革を推進しています。学部教育から大学院教育と初期研修へのシームレスな接続をpre-ARTおよびARTプログラムで実現しています。未来の医療・医学のリーダーを志す皆さんが入学し、本学の次の50年を担ってくれることを心待ちにしています。

岡山大学医学部長 浅沼 幹人

## 医学部医学科のアドミッションポリシー (求める人材)

医学部医学科では、将来の医学・医療の担い手として次のような人材を求めています。

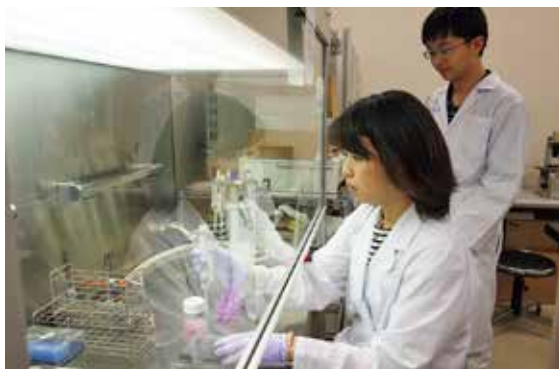
- 医師に必要な使命感、豊かな人間性、高い倫理観、コミュニケーション能力を持っている人
- 医学・医療の進歩に対応するために必要な、幅広い基礎的学力と語学力、問題解決能力を持っている人
- 知的探究心が強く、とくに生命科学に対して深い関心を持っている人

## 医学部医学科のディプロマポリシー

- **教養** …… 人間性に富む豊かな教養  
医療人としての高い倫理観と幅広い国際的な教養、豊かな人間性を身につけている。
- **専門性** …… 目的につながる専門性  
国際的に活躍できる医療人として必要な専門的知識と実践的能力を身につけている。
- **情報力** …… 効果的に活用できる情報力  
医学的情報を収集・分析し、的確な判断を行い、効果的にグローバルな情報発信ができる。
- **行動力** …… 時代と社会をリードする行動力  
高い協調性のもとに世界に通用する専門職業人としての指導力を発揮し、医療チームの一員として責任をもった行動ができる。
- **自己実現力** …… 生涯に亘る自己実現力  
医学・医療の進歩、グローバルな社会のニーズに対応して絶えず医療の質の向上に努め、生涯に亘り自己の成長を追求できる。

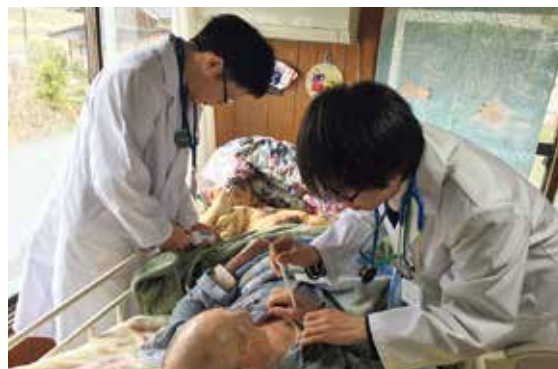
## 研究の現場で学ぶ

よりよい医療を提供するための推進力は、医学研究です。医学セミナー（1年次）では、少人数学習により、自ら課題を設定し、討論し解決する手法を身につけます。さらに基礎病態演習（3年次）では、実際の症例を分析し、理解して解決方法を提示する力を身につけます。そして、医学研究インターンシップ（3年次）では、自らを医学研究の場におき、その中で問題点を理解し、科学的方法論で解決法を見出す作業に従事します。学内だけでなく国内、海外の著名な研究室を選択でき、学生主導の報告会で発表して体験を共有し、将来の選択の糧とします。



## 地域の現場で学ぶ

医療は大病院だけで完結するものではなく、一人ひとりの患者さんの背景には退院後の地域での生活があります。患者さんとその家族に寄り添い、家庭・職場・地域の生活の場に根ざした医療を提供する必要があります。そのため、1年次の夏、「医師になりたい」という熱い想いの冷めやらない時期に地域医療の現場で実習を行います。また、2・3年次には、患者中心の医療、医療と福祉の連携など様々な角度から現場で学ぶ一歩進んだ内容を必修の実習として行います。参加した学生からは「モチベーションが高まった。現場の医師の生き方から学んだ。生活に根差した医療を実感した。」という感想が多く寄せられています。



## ベッドサイドの現場で学ぶ

診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）では、学生が診療チームの一員となって、基本的な医学知識・思考法・技能・態度を学習します。ベッドサイド実習から得られることは、教科書からは得られない臨床の現場で行う臨床推論から実技、そして診療態度も含めた将来の医師として必要な総合力に直結します。診療チームのなかで、学生の技量に応じた診療業務が任されるため、医師になるために必要な臨床力を段階的に学ぶことができます。患者さんのみならず、看護師さんや技師さんなど、現場の診療スタッフから広く学ぶ大切な機会となります。卒業後、研修医として着実に踏み出せるよう、実践力を身につける実習です。

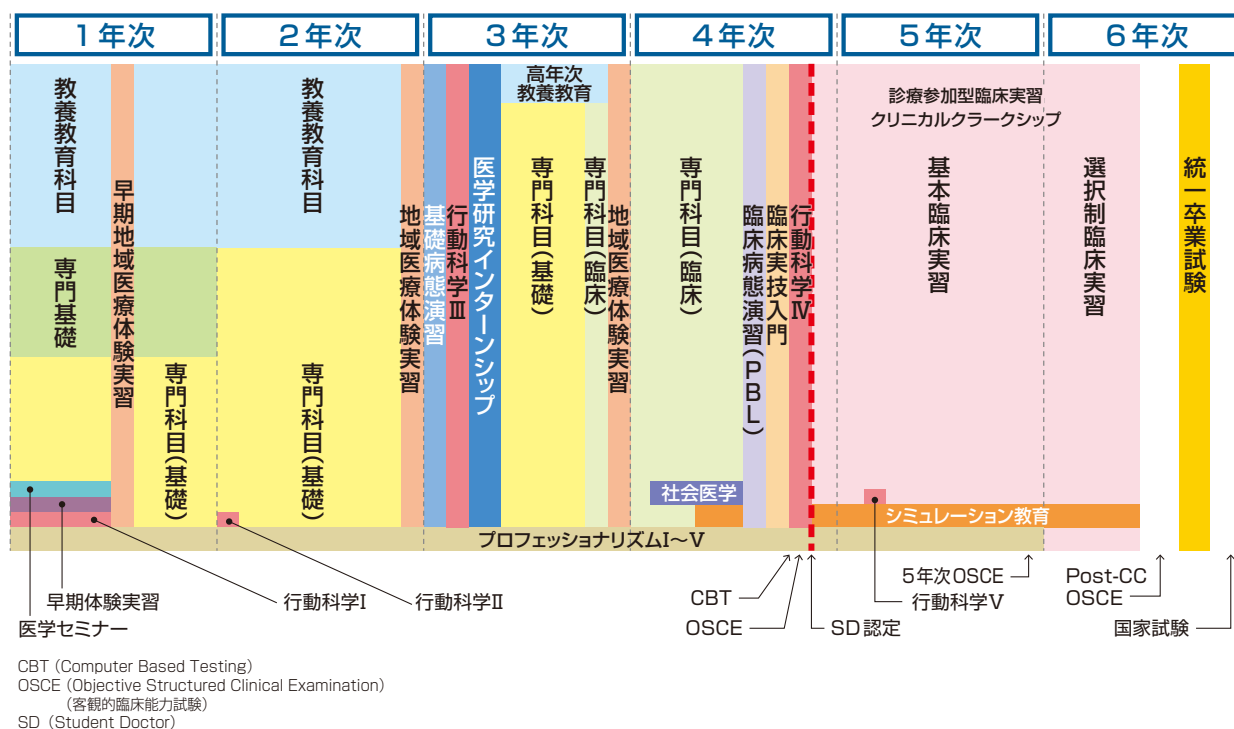


## シミュレーションで学ぶ

安全で安心な医療を提供できる医療人の育成には、正しい技術の修得が求められます。岡山大学では、様々な部署でシミュレーターを導入し、診療参加型実習のための教育に活用しています。シミュレーターは様々なものを取り揃えており、実際の患者さんと接したときに困らないように、見て・聞いて・触って・操作できます。1年次では早期体験実習、4年次後半から6年次では臨床実技入門、臨床実習で、シミュレーションを体験できます。効果的で臨場感あふれたシミュレーション医学教育が展開されます。



# 岡山大学医学部医学科在学中カリキュラム



## 医学部医学科のカリキュラムポリシー

医師・医学研究者の育成には、科学知識と技術の修得とともに豊かな人間性の獲得が求められます。本学科では、医の倫理に徹し、科学的思考法と高度な医学的知識・技術を体得し、社会的信頼を得る医師並びに医学研究者を養成することを教育理念とします。この理念を達成するために、卒業までに身につけるべき事項についてディプロマポリシーを定め、医学教育モデル・コア・カリキュラムに提示されている教育内容を包含した6年一貫教育カリキュラムを構築しています。

### ◆ 人間性に富む豊かな教養【教養】

教養教育と専門教育を通して、高い倫理観と幅広い国際的な教養、豊かな人間性を身につけます。専門教育では、1年次の「医学概論」、「臨床医学入門」で医学の根本を学び、「プロフェッショナリズム」で、医師としての素養を身につけます。2年次の「医学史」では医学を築いてきた先人に学びます。さらに、4年次での「生命倫理学」、「医事法」では、倫理的・法的観点から医師に求められる素養を獲得します。

### ◆ 目的につながる専門性【専門性】

専門基礎科目と専門科目の螺旋型カリキュラムにより、国際的に活躍できる医療人に必要な専門的知識と実践的能力を養います。1年次に生命科学の基礎を修得し、1年次後半～3年次に正常な人体の構造と機能、病原体や様々な病因によって引き起こされる病態、薬物反応、を学びます。4年次では、臨床医学と社会医学を学修します。4年次後半～6年次では、診療チームの一員として臨床実習を行い、医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本を身につけます。

### ◆ 効果的に活用できる情報力【情報力】

医学的情報を収集・分析的に判断できる能力を養い、効果的にグローバルな情報発信ができる能力を身につけるための科目を設定しています。1年次に情報リテラシーの基礎を学修し、2年次では情報の数理解析方法

を学びます。実践的な演習科目として、3年次初期に「基礎病態演習」を、4年次後半に「臨床病態演習」を履修し、課題解決型能力を養います。

### ◆ 時代と社会をリードする行動力【行動力】

高い協調性のもとに世界に通用する専門職業人としての指導力を発揮し、医療チームの一員として責任をもった行動ができる能力を養成します。1年次では、テュートリアル方式の授業を行い、自ら問題点を見つけて学習する習慣を身につけます。1・2年次に外国語科目を履修し、外国語によるコミュニケーション力を獲得します。1～3年次に行う地域医療体験実習では、地域の医療現場を理解するとともに、地域住民や医療従事者とのコミュニケーションを通して医療人としての社会性を育てます。

### ◆ 生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

医学・医療の進歩、グローバルな社会のニーズに対応して絶えず医療の質の向上に努め、生涯にわたり自己の成長を追求できる医療人を育成します。1年次早期に医療・福祉の現場を自ら体験し、患者の傍らに居ること、共感的態度を学びます。3年次には、医学研究インターンシップを行い、海外を含む学内外の研究室での実体験を通して研究マインドを涵養します。6年次では、6年間の医学教育の仕上げとして選択制臨床実習による総合的な自己研鑽を行います。



## 先輩から



3年次：伴場 友香

受験生の皆さん、こんにちは。私は岡山大学に入学して3年目となりました。入学以来、様々なことを学ぶ機会に恵まれ、たくさんの人との出会いがあり、非常に充実した学生生活を送っています。特別、印象に残っているのは2年次で体験した地域医療体験実習です。地域の病院で地元の人々と交流し、地域医療の実際に直に触れ、座学では得られない刺激を受けることができました。また、岡山大学の学生には低学年のうちから小グループを組み、議論をし、コミュニケーション能力を

高め、チームワークを学ぶ機会が与えられます。私は将来医師として社会貢献することを志していますが、医師になる上で医学的専門知識に加えて他者と円滑なコミュニケーションをとることは非常に重要な要素だと考えています。そのため、こういったカリキュラムが自分の成長に繋がっていると実感しています。勉学以外にも、部活動や各々の趣味に没頭する時間ももちろん作ることができ、在学中に自分の個性を育てることもできます。

皆さんと一緒に岡山大学で充実したキャンパスライフを送りましょう！お待ちしております！



4年次：大後戸 智也

受験生の皆さんへ。岡山大学の魅力の一つに、優れたカリキュラムがあります。例えば、1年次生から大学病院の中を見学したり、県内外の病院に実習に行ったりすることもできるので、実際の臨床の現場を生で体験することができます。また、グループワークで医師としてどうあるべきなのか、どのように患者さんに接することが大切なのかを学ぶ授業もあります。知識もまだ足りないからこそ、臨床について見て、考えることはとても有意義な体験でした。

そのほか、3年次の医学研究インターンシップでは、国内や海外の優れた大学や医療機関の研究活動に参加することができ、基礎研究について学ぶことができます。

こうした充実した実習に加え、毎日の講義では最新の医学知識を教わります。内容は豊富ですが無理のない日程が組まれていて、部活動やその他の活動もしながら、臨床・研究双方の知識をしっかりと学ぶことができます。

皆さんはどのような医師になりたいですか。岡山大学では、将来について考える機会をたくさん与えてもらえます。多種多様な医師について見て、聞いて、考える機会をもらい、きっと皆さんそれぞれにあった自分だけの医師像を見つけることができるでしょう。皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。



5年次：住田 まどか

皆さんは入学した後、どんなキャンパスライフを送り、どんな医師になりたいですか？勉強に励みたい人、研究したい人、留学して語学力をつけたい人、部活に勤しまいたい人。様々な大学生活の送り方があると思います。岡山大学は学生に多種多様な選択肢を与えてくれ、成長させてくれる大学だと思っています。

例えば1、2年次に津島キャンパスで行われる一般教養では自分の興味ある授業を受講することができます。私も2年次に模擬国連に参加し国連本部にて世界から集まった学生との討論に加わらせていただきました。そんなユニークな講義があるのも岡山大学の特徴の一つです。

また、3年次の医学研究インターンシップでは3ヶ月間、岡山大学のみならず国内・海外の優れた大学や医療機関にて研究活動に携わることが出来ます。その先で薬く人脈はかけがえのないものとなるでしょう。

そして、4年次後期から始まる臨床実習では学生の積極性を尊重してくれており、診療チームの一員として参加することができます。指導医との距離が近く、自分が将来どういった医師になりたいか、といったロールモデルを見つけることができます。

岡山大学はあなたの送りたいキャンパスライフをサポートしてくれます。ぜひ、一緒に学びましょう！



6年次：藤本 遼

岡山大学を志望しておられる皆さんへ。現在僕は6年次生となり、医師国家試験を受ける学年になりました。これまでの岡山大学での日々を振り返ってみると非常に充実した学生生活を送れてきたと実感しています。

まず岡山大学の魅力は、医学研究や部活動、様々なプログラムに取り組む同級生・先輩・後輩がいることだと思います。僕の場合、3年次に東京で3か月間の研究留学をし、6年次にはタイで1か月の臨床留学をする経験を持つことができました。また、僕はアメリカの医師免許の取得も目指しており、そう考えたのも、岡山大学の中に多くの刺激を与えてくれた同級生がいたおかげだと思っています。

さらに、岡山大学では4年次の冬から6年次の夏まで大学病院で臨床実習を行うのですが、どの診療科でも共通して言えることは、学びたい姿勢次第で、見たい疾患を見ることができ、様々な手技を行うことができます。先生方は教育熱心な方が多く、学生の意見に耳を傾けてくれ、実習の内容も学生の意見を交えて改善していただけます。教育プログラムの整った岡山大学で皆さんも学んでみませんか？

岡山大学で好奇心を育て、夢を共に追いましょ！

## 課外活動の紹介

皆さんが目指す医学・医療の道では、いかなる方向に進むにしても、学生時代、課外活動を通して、自ら作り出す楽しみ、何かの役割を担う張り合い、仲間と共に成し遂げる喜びを、身をもって知ることが、医療のプロとして成長するために、何よりも大切です。部活動を通して、人を思いやり、人に役立つことに意義を感じる人となるよう成長してください。

鹿田キャンパスには、多くの体育系、文化系、医療系のサークル(部)があります。岡山市の中心にありながら、グラウンド、テニスコート、プール、体育館、武道場、弓道場を備え、文化系サークル(部)も含めてのクラブ棟もあり、大変恵まれた環境にあります。



岡山医学生学会 COMEs

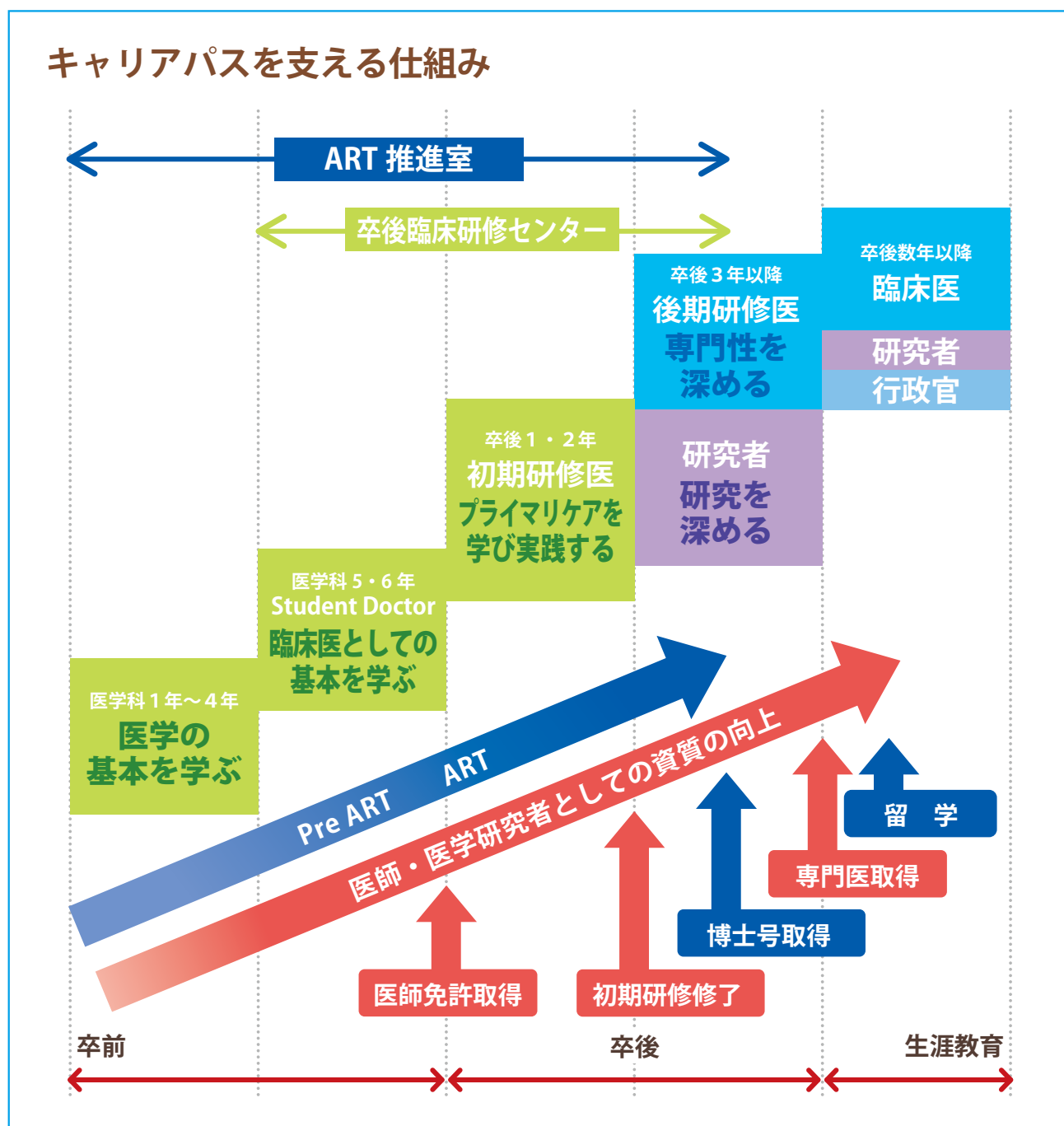


卓球部



硬式庭球部

## 卒後キャリアパス



岡山大学医学部医学科を卒業後はキャリアを様々な形でサポートし、医師としてのキャリア形成をシームレスに(切れ目なく)、セレクトティブに(個々に合わせて)支えます。まず、卒後臨床研修センターでは、学生から研修医、レジデントという医師への入り口と最初のステップをサポートします。岡山大学病院では約80名の初期研修医が、未来の医療界のリーダーになるべく臨床研修を行っています。岡山大学病院研修プログラムでは、100以上の病院・施設を組み合わせさせた多様性のある研修が可能であり、プライマリケア重視あるいは、専門研修の早期スタートなど、各研修医のニーズに合わせた

完全オーダーメイド研修を提供しています。大学院医歯薬学総合研究科では全国初の試みであるARTプログラムコースで世界に羽ばたくPhysician Scientistsを育てています。また、NPO岡山医師研修支援機構は、情報提供やセミナーなどを通じて学生から研修医まで幅広いサポートを行っています。

ARTプログラム: 先端医学修練(Advanced Research Training)プログラム。研修1年目からの大学院スタートが可能なコース。学生のときから大学院の講義を科目履修することも可能です(PreART)。



## ACCESS

### 【JR岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル】

#### ▶3番乗り場から

- [22]系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい病院」行き
  - [52]系統「(市役所経由)当新田・大東」行き
  - [62]系統「南ふれあいセンター・岡南飛行場」行き
- ▶▶「大学病院入口」で下車。

#### ▶4番乗り場から

- [2H]系統「大学病院」行き
- ▶▶「大学病院」で下車。
- [12]系統「岡南営業所」行き
- ▶▶「大学病院入口」で下車。

岡山大学は、医学・医療を志し次世代を担うあなたを待っています。



学 章

## 岡山大学 医学部 医学科

〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目5番1号

お問合せ窓口：岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科等学務課

教務グループ医学部医学科担当

Tel. 086-235-7020・7021

E-mail kdd7020@adm.okayama-u.ac.jp

編 集：岡山大学 医学部医学科入試委員会・教務委員会

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/medicine/index.html>

岡山大学医学部医学科

検索